

事業番号	10 04 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			
		実施期間	S29 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化							

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 ・森林の持つ土砂災害防止機能を発揮させるため、適切な間伐や治山施設の整備など、災害に強い森林づくりを目指す ・成果目標：治山事業により新たに保全される集落数 200集落（H30～R4） 整備率 54%（H28） → 61%（R4）				
	【これまでの取組】 ・荒廃山地の復旧や荒廃森林の機能回復を図るため、治山施設の設置や森林整備を実施 ・災害に迅速に対応するための応急対策や、被災施設の機能回復のため治山施設の修繕・リフレッシュを実施 ・大規模山腹崩壊や地すべり発生の兆候を事前に把握するため、山地変動モニタリング調査を実施				
令和2年度 点検結果 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・近年の災害の激甚化、多様化、同時多発化に対応する必要がある。 ・森林資源の増加に伴う流木災害の発生に対応する必要がある。 ・経年劣化した治山施設の長寿命化対策を図る必要がある。 </td> <td> ・山地災害を防止し、被害を最小限にとどめるための治山事業を実施する。 ・流木による災害を未然に防止するため、荒廃森林の整備や危険木除去を実施する。 ・治山施設の老朽化対策やリフレッシュを行い、治山施設の長寿命化の促進を図る。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・近年の災害の激甚化、多様化、同時多発化に対応する必要がある。 ・森林資源の増加に伴う流木災害の発生に対応する必要がある。 ・経年劣化した治山施設の長寿命化対策を図る必要がある。	・ 山地災害を防止し、被害を最小限にとどめるための治山事業を実施 する。 ・流木による災害を未然に防止するため、 荒廃森林の整備や危険木除去を実施 する。 ・治山施設の老朽化対策やリフレッシュを行い、 治山施設の長寿命化の促進 を図る。
	課 題	今後の方向性			
・近年の災害の激甚化、多様化、同時多発化に対応する必要がある。 ・森林資源の増加に伴う流木災害の発生に対応する必要がある。 ・経年劣化した治山施設の長寿命化対策を図る必要がある。	・ 山地災害を防止し、被害を最小限にとどめるための治山事業を実施 する。 ・流木による災害を未然に防止するため、 荒廃森林の整備や危険木除去を実施 する。 ・治山施設の老朽化対策やリフレッシュを行い、 治山施設の長寿命化の促進 を図る。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山地災害を防止し、被害を最小限にとどめるための治山事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・山地災害、地すべりからの復旧のため、山地治山総合対策を実施 ・山地災害の発生の恐れのある個所への治山事業の実施 ・災害発生時に被害拡大を防止するため応急工事を実施 ✓ 荒廃森林の整備や危険木除去の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・水源地域にある過密化し表土流出した森林の密度調整を行うため、森林整備を実施 ・流木の恐れのある溪流沿いの倒木や支障木を除去 ✓ 治山施設の長寿命化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・被災し破損した治山施設の修繕を行い、機能回復を図る ・目詰まりしたボーリング孔を洗浄し機能回復を図る
------------------	--

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)		R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)			
		R1年度	R2年度	R3年度	R1年度					R2年度	R3年度						
1	治山事業により保全される集落数	45	56	↑	40	→	40						事業コスト	前年度繰越	2,143,596	2,860,639	
2														当初予算	4,113,297	4,151,439	要求 4,174,927 予算案 —
3														補正予算	1,145,805	304,187	
4														合計(A)	7,402,698	7,316,265	要求 4,174,927 予算案 —
5														うち一般財源	747,544	305,135	要求 284,261 予算案 —
													決算額(B)	4,533,151			
													職員数(人)	55.9	56.0	56.0	
成果指標設定理由	①治山事業による施設整備や森林整備により、保全が図られる集落数を成果指標に設定（長野県森林づくり指針目標値）																

事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	公共治山	3,801,509 千円	3,842,563 千円	要求 3,836,436 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	山地治山総合対策事業	直接	山地災害、地すべり等の復旧・軽減を図るとともに、荒廃森林の機能の復旧を図る
2	水源地域等保安林整備事業	直接	水源地域の荒廃森林において、森林の整備と荒廃地の復旧整備を行い、水資源の確保と県土の保全を図る
3	農山漁村地域整備治山事業	直接	荒廃山地、荒廃危険地等の山地を復旧整備することにより、水土保持機能の高度発揮と下流域の漁場環境の保全を図る

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	県単治山	311,788 千円	308,876 千円	要求 302,491 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	林地荒廃（災害復旧）	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で荒廃地の復旧、応急対策を行う
2	治山施設修繕	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で施設修繕等を行う
3	治山施設リフレッシュ事業	直接	土砂流木の除去、ボーリング孔の目詰まりの洗浄等の施設の機能回復を図る工事を行う
4	山地変動モニタリング事業	直接	人工衛星情報を活用した地盤変動のモニタリングを行う

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	県単治山（森林づくり県民税活用事業）	0 千円	0 千円	要求 36,000 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	防災・減災対策緊急治山事業	直接	家屋、生活道路やライフラインに影響がある災害が発生した場合、応急工事や緊急調査を実施する 防災・減災の観点において二次災害を防止するため緊急に森林整備を実施する
2	地すべり防止施設管理サポート事業	直接	地すべりの再発を未然に防止するため、地すべり防止施設を適切に管理する